

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立西唐津小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・学力向上に向けて全校統一した組織的な取組を実施し、児童が見通しをもって学習できる体制を整えることができた。今後は、ＩＣＴを有効的に活用していきながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進め、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に努めていく。 ・外部人材を活用し、地域に根差した体験的活動を実施することで、児童の豊かな心の育成につながった。
------------------	---

2 学校教育目標	「学びのえがお」いっぱい 西唐津小学校 「人・もの・こと」に関わりをもち 心豊かに育つ西唐津っ子 ～にこ・きび・はき・どん～
----------	--

3 本年度の重点目標	・知…やる気→学力向上に積極的に取組む ・徳…ほん気→「人・もの・こと」への関わりの中で心を育てる ・体…げん気→安全・安心な学校づくりに取組む
------------	--

重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善による学力向上対策 ・単元のゴールとプロセスデザインの見える化 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実 ・ICTの活用場面の設定	○個別最適な学びと協働的な学びを推進する唐津の学びスタイルチェックシートによる振り返りで、平均3点以上	・定期的に校内研修会等で、学びスタイルの進捗状況を確認する。また、他の学年と進捗状況を共有し、更なる取組の促進を図る。 ・ICT推進リーダーやICT支援員と協力をして、ICT利活用に係る研修会を開催する。	・	・	・	・	・	学力向上コーディネーター 研究主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友だちに対して思いやりの気持ちをもって優しくしていますか。」について、肯定的な回答をした児童をが90％以上とする。	・縦割り活動などを通してお互いを思いやる経験を積めるようにする。 ・児童の善い行いに気づいた児童が「ほめほめカード」を書いて掲示したり、全校放送したりすることで児童のよさを認める温かい雰囲気を作る。	・	・	・	・	・	特活部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめを見たり気付いたりしたら、止めるようにしたり、大人に伝えたりしていますか。」について肯定的な回答をした児童を90％以上とする。 ○「いじめの未然防止、早期発見・対応ができるよう、組織的な指導や取り組みを行っている」について肯定的な回答をした教職員を90％以上とする。	・いじめアンケートや毎月初めの「西小アンケート」の結果をもとにじめの早期発見と見直し0に努め、担任、生活主任、SC、SSW等と連携して迅速・適切に解決に当たり、再発防止に努める。	・	・	・	・	・	生活部	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80％以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒85％以上	・地域の人・もの・ことに関わる交流を通して学ぶ体験活動を各学年実施する。 ・教育活動全体を通して、教師は児童のよいところを認め、積極的に褒める。	・	・	・	・	・	特活部	
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80％以上	・体育委員会からの放送や担任からの呼びかけを継続し外遊びを奨励する。また、雨天で外遊びができない際も、体育館での運動を推奨して、運動する機会を増やす。 ・体育学習の工夫(カリキュラムの工夫)を行い、体育の授業や体を動かすことが好きな児童を増やすとともに、健康観察記録表による健康管理に努める。	・	・	・	・	・	保体部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・会議資料のペーパーレス化を推進する。 ・出退勤管理システムで勤務時間を意識させ、19時退勤(定時退勤日は17時40分退勤)を推進する。	・	・	・	・	・	管理職	
●特別支援教育の充実	○共生社会の形成に向けた校内支援体制の充実と環境の整備	○UDの考え方に基づいて、どの児童も安心して学校生活を送れるように、校内・教室環境を整える。 ○「学校生活全般において、学習や生活で困り感をもつ児童を含め、お互いを理解し合った学級集団づくりに努めている」の質問項目について肯定的な回答をした教員を90％以上にする。	・特別支援教育に関する研修会を行う。 ・児童についての情報交換を職員間で行い、指導や支援の方法を共有する。 ・困り感をもつ児童が学習に活用できる教材や、学習に参加できる手立てを紹介したり、共有したりする。	・	・	・	・	・	特別支援教育 コーディネーター	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)		・	・	・	・	・		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------